

平成 28 年度に県内の医療機関で実施された九州厚生局による適時調査の内容です。
下記の 4 施設より情報提供がありました。

参考にいただき、法令順守の下、理学療法業務に従事していただければと思います。

また、皆様からの情報をお待ちしています。 情報提供先:sagaptsyokunou@yahoo.co.jp

職能局 医療保険部 市丸勝昭

九州厚生局適時調査(平成 28 年 9 月)

○調査名:施設基準等に係る適宜調査

○提出を求められた資料

→・地域包括ケア病棟の書類

①直近 3 ヶ月の記録

(患者の全入院日数①・総単位数②・各疾患別の単位数、平均単位数【②／①】)

②①が証明できる書類

(患者氏名や、日毎の単位数など)

・脳血管リハの計画書・カンファレンス議事録、スタッフの単位記録

・心臓リハビリのカンファレンス議事録、スタッフの単位記録

・上記疾患別以外の計画書、カンファレンス議事録、スタッフの単位記録

・職員のタイムカードや配置(疾患別リハの登録人数や地域包括ケア病棟・心臓
リハビリの配置人数など)など

○指摘事項

・リハビリ室内の時計の時刻を合わせるように

(電波時計とそれ以外の時計の時刻が2分程ずれていたため)

○前回の立ち入り調査

・平成 25 年 10 月 11 日

【全体的な感想】

地域包括ケア病棟の書類は事前提出のため監査時は特に何もありませんでした。

平均 2 単位以上、専従 1 名をクリアしていれば大丈夫だと思います。

計画書やカンファレンスは結構見られていました。計画書は 3 名ずつ、カンファレンス議事録は 1 ヶ月分の資料を提出しました。

リハビリ室の調査では、心臓リハビリを開始して初めての適宜調査でしたので物品の確認や広さの確認をされました。それ以外の疾患別の物品の確認は前回指摘がなかったためか口頭での確認でした。

スタッフの単位記録では、一日の予定表・実施を確認され、時間が詰まっている所はどのような対応をしているか確認がありました。

書類の確認とリハビリ室の確認で全体で 30～40 分程度でした。

九州厚生局適時調査報告(平成 28 年 9 月)

施設基準:脳血管 I、運動器 I、呼吸器 I、がんリハ、回復期2、地域包括ケア病床1

⇒がんリハにて、研修会資料の提出の指示有り

提出データ:回復期リハ実施状況、地域包括ケア病床実施状況

⇒回復期では6ヶ月、地域包括では3ヶ月平均の単位取得状況の提出の指示有り

現場視察

・リハ処方からリハ実施までの流れの説明を求められる。

⇒電子カルテ及びリハシステムにて説明する。

・リハ総合実施計画書の提示(患者指定なし)

・リハ実施記録内容確認(疾患別、単位数、時間、訓練内容、記録)

・カンファレンス記録の提示

⇒各診療科ごとのカンファレンス記録を提示。出席状況(多職種の参加があるか)の確認。

・言語聴覚室内の視察(広さ、防音など)

九州厚生局適時調査(平成 28 年 10 月)

○ 疾患別リハビリテーション

提出書類

- ・ 過去の専任医師届出書類(3年以上の経験を有する証明として)
- ・ 疾患別リハビリ従事者(医師、療法士)の直近1月のタイムカードの写し
- ・ リハビリテーション総合実施計画書の写し(脳血管3名、運動器2名、廃用1名)
- ・ 担当者別の週間実施一覧表
- ・ カンファレンス議事録1ヶ月分
- ・ リハビリ室の平面図

助言等

- ・ 経験を有する医師書類として経歴書があるのが望ましい。
- ・ リハビリテーション総合実施計画書は見られなかった。
- ・ 週間実施一覧表では患者と患者の間は1分間であったが特に何も言われなかった。
- ・ カンファレンスは医師の参加が望ましい。

ケースカンファ議事録では医師の参加が確認できなかったため、追加で面談議事録を見もらった。

○ 回復期リハビリテーション病棟

提出書類

- ・リハビリ休日加算に関して、休日に勤務していることが分かる書類を求められた。
→9月分の勤務表を見てもらった。

口頭質問

- ・効果判定はどうしていますか？
→定期的に経過記録に記載しています。1ヶ月毎に計画書でADL評価をしています。
- ・重症患者割合はどれくらいですか？
→25～26%です。

○ ラウンド

- ・呼吸器リハビリに関して血ガス測定装置を確認された(検査室にて)
 - ・ ST室が遮音性があるか確認された。
 - ・ リハビリ室物品はSTの録画装置(ビデオ、音声記録装置)のみ確認された。
 - ・ リハビリ室の時計が合っているか確認された。

※ 講評での指摘事項はなかった。

※ 前回の適時調査 平成27年10月

九州厚生局適時調査(平成29年1月)

○提出書類、確認事項

- ・施設基準における、各疾患別リハの面積の確認
 - ・心大血管リハの実施日、スペースは書類と現場の一致を確認
 - ・心大血管リハ時の医師の関与(医師の介入はどのようにされているのか？専任登録されている医師のうち、主な担当者は誰か？)
 - ・1日で24単位、1週間で108単位の制限は守られているか
 - ・各療法士ごとの日々の単位取得帳票を提示し、患者と患者の空き時間の確認
 - ・患者のリハビリテーションセンターへの移動方法と担当職種、訓練時間との整合性
 - ・リハビリテーションセンターへの患者の移動は誰が行うのか
 - ・移動する時間も訓練時間に含むのか
 - ・訓練時間の記載は、いつ、どのようにして行われるのか
 - ・カンファレンスの記録として、多職種での参加であるか、内容の確認。また、共有できるように電子カルテ上で見れるか確認
 - ・施設基準に準じた機器の確認(呼吸機能検査器、血液ガス分析装置の確認、運動療法機器の確認、酸素、救急カート、AEDの確認)、また定期的なチェックの確認
 - ・言語療法の施設基準に準じた機器の確認(レコーダー、ビデオカメラ)の確認
- 施設基準に準じた機器の確認②
- ・リハ実施時間の確認方法(腕時計での確認か、掛け時計での確認か)